

|          |   |
|----------|---|
| 授業科目     | 商法演習  |
| 演習題目     | 会社法の諸問題   |
| 担当教員     | 笠原 武朗   |
| 授業の目的    | 会社法に関する様々な問題についての議論を通じて、世の中にはよく分からないことがたくさんあるんだなあということを実感する。  |
| 履修条件     | 特になし。   |
| 教科書・参考書  | 前期は、高橋美加ほか『会社法（第4版）』（弘文堂、2025年）<br>後期はなし。   |
| 授業の計画・内容 | <p>前期は、会社法について一通りの知識を得たり（商法Ⅰ・Ⅱの未履修者）、もう1回勉強し直したり（商法Ⅰ・Ⅱを履修済みの者）することを目的に、疑問点を解消しながらテキストを通読する。</p> <p>全員がテキストの該当箇所を読んでくることを前提に、疑問点を出し合い、担当者を中心に検討を行う。</p> <p>後期は、各回の担当者が選んだテーマや裁判例についての報告と議論を行う。</p> <p>後期のテーマや裁判例は、各担当者が教員と相談の上で決める。</p> <p>基本的には各担当者がやりたいことをやってもらうが、「う～ん、そりゃどげんやってもおもしろうはならんばい」「同じ問題についての上級審判決があるばい」的なアドバイスを教員が行う。</p> <p>受講者が多数の場合には、各回の担当者は複数になる場合もある。</p> |
| 成績評価の方法  | <p>報告、授業への貢献、出席状況による。</p> <p>準備が不十分な報告をした者にはレポート等の追加課題を課すこともある（教員としても、追加課題を課す場合には相当の精神エネルギーを使うので、そういうことのないように頑張ってもらいたい）。</p> <p>授業への貢献は、発言の内容、積極性などをみる。</p> <p>欠席が多い場合にはレポートを課すこともある。</p>   |